

委員会 Administration
 Membership
 The Rotary Foundation
 Asambleas
 Public Relations 意欲の喚起
 Strategisk Dinâmico
 Mitglieder Mål
 Migliori Ziele
 Flexibilität 支援
 Desenvolvimento
 Service Satzung
 Opportunities
 Innovation
 Vitalità 클럽
 Vibrant
 Leaders
 Annual Active
 Soutenir
 Flexibilité
 Leadership
 Socios 클럽
 Strong 효음적인
 Planejamento
 意欲の喚起
 Kontinuitet
 Training
 Invigorate
 Klubb
 Regolamento
 International
 Committees
 협의회
 커뮤니케이션
 www.rotary.org
 Community
 Strategico 革新性
 Rotary 新世代
 Vocational
 Annual
 Sviluppo
 Metas
 Capacitação
 Continuidad
 Dienst Formation
 Dynamique Yrke 봉사
 Eficaz
 広報



クラブ・リーダーシップ・プラン
 元気なクラブづくりのために

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

- 第一 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第二 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第三 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第四 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

奉仕部門

クラブ奉仕
職業奉仕
社会奉仕
国際奉仕
新世代奉仕

あなたのクラブは「元気」ですか

ご自分のクラブについて考えてみてください。楽しく、活気に満ちていますか。人々から注目されるような自慢のクラブ、あるいは独自の活動を行う個性あふれるクラブでしょうか。クラブは多様な会員から成っていますか。会員の積極的な参加や新しい考え方を奨励していますか。あなたが思い描くクラブの理想像と同じでしょうか。この手引きは、これまでに成功したロータリー・クラブのベストプラクティスを紹介し、クラブに活力をもたらすための参考としていただくことを目的としています。

ロータリーの奉仕の歴史

ロータリーの綱領と奉仕部門は、これまで長きにわたってロータリーを特徴づけてきた奉仕の精神を表しています。今日、ロータリー・クラブは、各クラブ独自の方法で、柔軟かつ新しいやり方を取り入れて時代に即した存在であり続けながら、会員や地域のニーズを取り上げ、奉仕の伝統を引き継いでいます。奉仕の伝統は、さまざまな形で実践されています。あなたのクラブでは、この伝統をどのように継承しているのでしょうか。クラブの自主性を生かし、その可能性をフルに発揮しているのでしょうか。

本資料は、「元気なクラブづくりのために：クラブ・リーダーシップ・プラン」（出版物245、旧題「クラブ・リーダーシップ・プラン」）の2010年版です。

ご質問やご意見がありましたら、下記までご連絡ください。

Leadership Education and Training Division • Rotary International • One Rotary Center • 1560 Sherman Avenue • Evanston, IL 60201-3698 USA • Eメール: leadership.training@rotary.org • 電話: 847-866-3000 • ファックス: 847-866-9446 • www.rotary.org

ベストプラクティス

革新性と柔軟性を育む環境を備えたクラブは、活力にあふれています。以下に挙げられた一連のベストプラクティスは、会員が進んで新しいアイデアを取り入れるよう奨励し、活気あるクラブを築くことを主眼としています。クラブ強化のヒントとして、クラブに合った形で応用してください。この手引きでは、以下のベストプラクティスが取り上げられています。

- 効果的なクラブとなるための要素を盛り込んだ長期目標を立てる
- 長期目標を支える年次目標を立てる
- すべての会員に積極的に参加してもらい、常に情報を伝える
- クラブ会員および地区指導者とのコミュニケーションを効果的に図る
- 年度から年度への指導の継続性を保つ
- クラブの運営方法を反映させて細則を独自に修正する
- 定期的に親睦の機会を提供する
- すべてのクラブ会員が積極的に参加するようにする
- 定期的に、一貫した研修を提供する
- クラブの運営を支える委員会を任命する（管理運営委員会、会員増強委員会、広報委員会、奉仕プロジェクト委員会、ロータリー財団委員会など）

● あなたのクラブの伝統や運営方法は、元気なクラブづくりに役立っていますか。

上記を既に取り入れているクラブもあるでしょう。この手引きで紹介されているベストプラクティスを読み進む際には、クラブが新たに取り入れることのできるものや、改善に役立つものに的を絞ってお読みください。

はじめよう

現在のクラブ運営を見直し、会員の参加を促し、地域での認知やクラブ活動の効果を高めるための参考として、この手引きをご活用ください。クラブの現状評価や新しい運営方法の検討は、決して簡単なことではありませんが、全会員の時間と努力を費やす価値は十分にあります。新ロータリー年度開始の6カ月前に、1日かけて話し合ったり、数回の会議を設けるなどして、これらのベストプラクティスをクラブで応用する方法を検討してみましょう。会員が新しい発想で考え、また、全会員が自由に発言できるよう、このような会議は、通常の例会とは違う場所で行うのが効果的です。会員全員が参加することで、クラブ運営が全会員の責務であることが認識されると同時に、奉仕やクラブの未来に真剣に取り組むクラブ指導者の育成にもつながります。会員に活力が吹き込まれ、素晴らしいクラブにしたいという意欲も高まるでしょう。

クラブの運営や活動の内容を毎年会員とともに見直し、クラブの目標にふさわしく、クラブの独自性を反映した運営や活動を行っていくことが大切です。年度中、クラブ運営の実施と見直しにおいて援助が必要な場合には、地区指導者（特にガバナー補佐）に連絡してください。

● 「長期計画立案の手引き」は生き生きとしたクラブづくりを計画する際に役立つ資料です。

以下、各ベストプラクティスにおいて、以下のアイコンが使われています。



検討すべき問い



アイデア



www.rotary.org/jaのリソース

効果的なクラブとなるための要素を盛り込んだ 長期目標を立てる

長期目標の設定には、クラブの会員全員が参加すべきです。長期目標は、今後3年間から5年間にわたるロータリー年度を視野に入れ、効果的なクラブの要素（会員増強、奉仕プロジェクト、ロータリー財団、指導者育成）を盛り込んだものとします。また、柔軟性と刷新性を促すための方策や、各要素において成果を挙げるための具体的計画を盛り込むことも忘れないようにしましょう。長期目標は、クラブの発展とともに変更を加えていく必要があります。



「長期計画立案の手引き」を活用して、1カ月（4週間）にわたって例会をクラブの長期計画立案に充てる。最初の例会は、地元地域におけるクラブの強み、弱み、機会、問題の分析を行い、2週目の例会はクラブのビジョン、3週目はクラブの主要目標、4週目は行動計画について話し合う。

例会とは別の日に集まりを開き、長期計画の内容を見直し、目標に向けた現状評価および目標の軌道修正を行う。



クラブのビジョン（将来像）
はどのようなものか。

クラブの長期計画をどのように改善できるか。

長期目標の管理にかかわる会員は誰か。



長期計画立案の手引き

「効果的なロータリー・クラブとなるための 活動計画の指標」を活用し、 クラブの長期目標を支える年次目標を立てる

長期目標を実現するには、毎年、年次目標を立てることが大切です。「活動計画の指標」は、クラブの現状評価を行い、年次目標を立てる際に活用できる資料です。クラブの強みを生かし、弱みを改善していくために、年次目標を一つずつ達成していくことで、長期目標の実現へと近づくことができます。「活動計画の指標」は、年度中も、必要に応じて修正を加えるなどしてご活用ください。



年次目標をどのように決めるか。

会員全員にどのように参加してもらうか。

クラブ指導者は、「活動計画の指標」をどのくらい頻繁に見直すか。



クラブ委員会から年次目標を提案してもらう。

年次目標を立てる前に、地域社会のニーズ調査を実施する。



「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」（以下の資料に関係箇所が収められています）

クラブ会長要覧

クラブ幹事要覧

クラブ会計要覧

クラブ管理運営委員会の手引き、クラブ会員増強委員会の手引き、クラブ広報委員会の手引き、クラブ奉仕プロジェクト委員会の手引き、クラブ・ロータリー財団委員会の手引き

クラブ協議会を実施して すべての会員に積極的に参加してもらい、 ロータリーの活動に関する情報を伝える

全会員に最新情報を伝え、クラブへの参加を実感してもらえる機会となるのが、クラブ協議会です。多くのクラブでは、クラブ協議会において、全会員がクラブに関する決定を行ったり、委員会活動の報告を行ったりしています。



協議会で会員からの発言や参加をいかに促すことができるか。

今年度の協議会で、どのようなトピックを取り上げるか。

地区から誰を協議会に招くか。

どのくらいの頻度で協議会を開くか。



通常の例会中に協議会を開く。

全会員から新しいアイデアを募るため、四半期に1度協議会を開く。



クラブの例会と協議会に関する情報 (www.rotary.org/ja)

→ 会員 → クラブの運営 → 管理運営 → ロータリー・クラブの会合)

クラブ指導者、クラブ会員、地区指導者との コミュニケーションを効果的に図る

クラブ指導者が協力し合い、互いの連絡や、クラブ会員および地区指導者との連絡方法を確立することが大切です。このコミュニケーション・プランには、誰から誰に、どのような方法を用いて、いつ連絡するかを盛り込む必要があります。



クラブ活動について会員と地区指導者に伝えるのは誰の責任とするか。

情報をどのように伝えるか。

クラブはどのソーシャルネットワーキング・サイトを活用するか。

地区のウェブサイトから、どのような情報が得られるか。



月に1度、例会の最後の10分間をオープンフォーラムとし、新しいアイデアや今後の討論のトピックを会員から出してもらう。

毎週または毎月、クラブのウェブサイトを更新する役割を、一部の会員または全会員で分担する。

通常インターネットを使用しない会員には、よく使用する会員と2人1組になって、クラブのウェブサイトとソーシャルネットワーキング・サイトの利用方法を一緒に学んでもらい、必要に応じて資料を印刷して提供する。



ウェブサイト・デザインのベストプラクティス (www.rotary.org/ja/graphics → ウェブサイト・デザインのベストプラクティス)

未来のリーダーを育てるために、 年度から年度への指導の継続性を保つ

ロータリーのクラブ指導者は毎年交代するため、リーダーとなれる会員が常にクラブにいる必要があります。異なる年度のリーダー同士が協力し、引継ぎをしっかりと行うことが重要です。継続性を保つ方法は数多くありますが、これには、2年以上の任期で任命すること、全委員会に現・次期・元委員長を含めること、現クラブ会長が会長エレクト、会長ノミニ、直前会長と密に協力することなどがあります。



すべての役員の責務内容を記載した資料を、全会員に配布する。

次期役員が就任の少なくとも1カ月前までに、職務の「実地研修」を行う。

指導的役割に就くことに関心のある会員を対象に、指導者育成プログラムを実施する。

新会員一人につき、元会長や現クラブ役員をメンター（個人指導者）として割り当てる。



クラブの新たな役職に就くことのできる候補者を十分に確保するには、どうすればよいか。

2年以上に及ぶプロジェクトの管理を、クラブでどのように調整して行っていくか。

クラブ会長となる前に、どのような役職を務めるべきか。



指導力育成：プログラムを始めるための手引き

クラブ会長要覧

クラブ幹事要覧

クラブ会計要覧

クラブ管理運営委員会の手引き、クラブ会員増強委員会の手引き、クラブ広報委員会の手引き、クラブ奉仕プロジェクト委員会の手引き、クラブ・ロータリー財団委員会の手引き

クラブの委員会構成や 指導者の責務内容を反映させ、 細則を独自に修正する

RIが提供している推奨ロータリー・クラブ細則に修正を加え、クラブ独自の運営を反映させましょう。クラブ細則は、クラブ管理の指針となる文書です。推奨ロータリー・クラブ細則は、個々のクラブのニーズに合わせて柔軟に活用するものとなっていますので、クラブの独自性に合わせ、適宜修正してください。年月とともにクラブの運営方法も変わるため、定期的に細則を見直し、新しい慣習や運営方法を反映させるようにしましょう。



昨年度、クラブ運営に変更があったか。

試験的に行ってみたい手続上の変更があるか。

クラブ細則の見直しと修正の時期が来ているか。

当クラブの細則は、クラブ会員が簡単に参照できるようになっているか。



会員に細則を読み直してもらい、あらかじめ予定した例会で、変更すべき点を提案してもらう。

クラブ細則に修正を加える前に、クラブ理事会の承認の下で新しい手続きを試験的に実施し、変更が有効かどうかを試してみる。



推奨ロータリー・クラブ細則
標準ロータリー・クラブ定款

クラブ会員同士が交流を深めるための親睦の機会を提供する

ロータリーを楽しんでいる会員は、自分がクラブの重要な一員であると実感するものです。クラブにおける結びつきが、奉仕活動の支えとなることもあります



例会とは違った環境でクラブ会員同士が知り合えるよう、毎月、親睦の行事を開く。

会員が参加したいと思う親睦行事は何か、都合のよい曜日や時間はいつかなどを調べるため、毎年、アンケート調査を行う。

月に1度または四半期に1度、ほかの会員との親交の輪を広げ、互いの職業について学び合うために例会を費やす。

奉仕プロジェクトを、楽しく、会員同士の親交が深まるようなものとする。



例会には、知り合いの輪を広げ、会員同士が交流する時間が設けられているか。

クラブ活動には、会員の家族も参加しているか。

当クラブは、ネットワークを広げるために、どのように地区や国際ロータリーの行事やグループを活用しているか。



ロータリー親睦活動要覧

www.rotary.org/ja/convention
から国際大会に登録

すべてのクラブ会員が、クラブのプロジェクトや運営に積極的に参加するようにする

クラブの活動に積極的にかかわることによって、会員は、ロータリーについて学ぶことができます。積極的に活動する会員は、クラブのプロジェクトに熱意と責任感を持ち、さらに献身するものです。



クラブのプロジェクトに会員に積極的に参加してもらう方法には、どのようなものがあるか。

会員がクラブに何を期待し、どのような変化を求めているかを、定期的に会員に尋ねているか。

どのようにして、すべての会員に意見を述べてもらうようにするか。

当クラブのプロジェクトは多様性に富んでいるか。



会員からの自発的な参加を待つよりも、関心のある活動や分野は何かを会員に尋ねる。

会員の関心を調べるためのアンケート調査を行い、その結果に基づいてプロジェクトや活動を計画したり、例会プログラムを企画する。

卓話の代わりに、奉仕プロジェクトの例会を行う。



活動する地域社会

クラブ評価ツール

ProjectLINK (www.rotary.org/projectlink)



当クラブにおける新会員のオリエンテーションはどのように行われているか。

当クラブの会員のうち、何名が地区レベルの活動に参加しているか。

当クラブはどのようにして会員の指導力(リーダーシップ)を育成しているか。



クラブ研修リーダーもしくは研修委員会を任命して、クラブにおける研修プランの監督に当たってもらう。

指導力のテストや評価を行い、会員が学びたいと望んでいる指導スキルは何かを知る。

包括的な研修プランをつくる

将来のリーダーを育成する上で重要となるのが、研修です。研修を通じて、クラブ役員は、ロータリーの最新情報を把握し、クラブを効果的に指導し、より良くロータリーでの奉仕を行うことができるようになります。以下を盛り込んだ包括的な研修プランを立てましょう。

- クラブ指導者が地区の研修会合に出席する
- 新会員のための一貫したオリエンテーションを定期的実施する
- 現会員に継続的な教育の機会を提供する
- リーダーとしてのスキル開発プログラムを全会員に提供する



新会員のための情報

(www.rotary.org/ja → 会員 → 新会員)

研修に関する情報 (www.rotary.org/ja → 会員 → 研修)

新会員のためのオリエンテーション

指導力育成：プログラムを始めるための手引き

指導力育成研修の周期

クラブのニーズを支える委員会を任命する

以下の委員会が含まれます。

- クラブ管理運営委員会
- 会員増強委員会
- 広報委員会
- 奉仕プロジェクト委員会
- ロータリー財団委員会

このほかにも、クラブの目標を支えるのに必要な委員会を任命することができます。どのような委員会構成を採用する場合であっても、各委員会はクラブの助言機関としての役割を果たすものとし、会員の参加とクラブの活動を促す機会とすることが重要です。



当クラブにはどのような委員会が設けられているか。

現在のクラブ委員会構成をどのように改善できるか。

委員会同士の活動の調整はどのようにして行うか。



小規模クラブ：委員会の責務を統合する方法を検討する。

大規模クラブ：全会員が参加できるよう追加の委員会を設け、クラブの奉仕能力を最大限に高める。各奉仕プロジェクト、またはクラブ独自の活動を計画する委員会を設ける。

クラブの委員会構成をまったく新しいものにすることを検討する。



クラブ委員会の構成 (www.rotary.org/ja → 会員 → クラブの運営 → 管理運営 → クラブ委員会)

クラブ管理運営委員会の手引き、クラブ会員増強委員会の手引き、クラブ広報委員会の手引き、クラブ奉仕プロジェクト委員会の手引き、クラブ・ロータリー財団委員会の手引き